

# 2018年度第1四半期 決算説明資料

2018年7月27日  
日本テレビホールディングス株式会社

本説明会及び資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

## **視聴率の状況・番組編成**

2018年度1Q決算について

主なグループ会社の状況

2018年度の連結業績予想

# 視聴率の状況

Point

1

## 2018年4月期 クール三冠王獲得！

2013年12月から本年6月まで55か月連続で「月間三冠王」獲得  
→在京民放局 歴代最高タイ記録！

Point

2

## 各時間帯・各エリア・「個人」で高視聴率を維持

「プラチナ」ゾーン(23時～25時)も1位獲得

日本テレビ系列26地区中、24地区で三冠王を獲得  
引き続きクライアントニーズの高い視聴者層を獲得

Point

3

## 2018年「年間」視聴率も三冠で推移！

(2018年7月23日現在)

# 2018年「4月クール」視聴率

期間:2018/04/02(月)~2018/07/01(日)

(単位:%)	NTV	EX	TBS	TX	CX	HUT
<b>全 日</b>	① <b>7.6</b>	7.5	6.2	2.8	5.6	<b>40.0</b>
6時~24時	▲0.3	+0.3	+0.2	±0.0	±0.0	+0.4
<b>プライム</b>	① <b>11.3</b>	10.2	9.6	6.1	7.7	<b>57.4</b>
19時~23時	▲0.4	+0.8	±0.0	▲0.1	+0.2	▲0.1
<b>ゴールデン</b>	① <b>11.7</b>	10.0	9.8	6.5	7.8	<b>59.9</b>
19時~22時	▲0.4	+1.0	+0.2	▲0.1	+0.2	+0.1
<b>ノンプライム</b>	② <b>6.6</b>	6.7	5.2	1.8	5.0	<b>35.1</b>
全日-プライム	▲0.2	+0.2	+0.3	±0.0	▲0.1	+0.6
<b>プラチナ</b>	① <b>6.5</b>	5.4	4.6	2.6	4.1	<b>28.8</b>
23時~25時	+0.2	▲0.2	+0.4	▲0.4	+0.3	+0.1

- 注: 1. 表示は左からデジタルチャンネル順  
 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ  
 3. 下段は前年度との差 比較期間:2017/04/03~2017/07/02

# 編成方針

---

1 継続的な視聴率三冠＋プラチナ制覇

---

2 「コアターゲット戦略」の堅持

---

3 地上波を中心とした  
「マルチプラットフォーム戦略」の推進

---

4 「レギュラー番組」重視  
更なる内容強化と、リ・ブランディング

---

# 2018年度10月改編の方向性

## テーマ：潮目を変える改編

### 1 平日ベルト番組強化

#### 朝昼ベルト番組のリフレッシュ

2018年6月から情報・制作局に組織変更。番組間の連携を深めフローを強化

◎ZIP！

ニュース情報・中継・天気など「ライブにこだわる」番組作り。2020に向けスポーツコーナー充実

◎スッキリ

関心あるテーマをスッキリするまで深く掘り下げる。3人のMCがロケに稼働し番組強化

◎ヒルナンデス

話題性とクライアントニーズの高い層への強みにこだわり企画をパワーアップ

#### 生まれ変わる「ZERO」

◎番組開始から12年。メインキャスター有働由美子とともに生まれ変わる

日々の暮らしから国際ニュースまで視聴者と共にホンネで考える最新型NEWSショー

### 2 GP帯強化

◎レギュラー番組のリブランディングを軸としたフロー強化

◎ドラマ3枠の重点強化

◎金曜ロードSHOW！強化施策

映画ラインナップ精査・強化／金ローバラエティ特番強化／デジタル施策強化

視聴率の状況・番組編成

## **2018年度1Q決算について**

主なグループ会社の状況

2018年度の連結業績予想



# 2018年度第1四半期 連結決算総括

日本テレビ放送網の放送収入増、HJホールディングスの会費収入増があったが、イベント・映画の収入減、バップの音楽・映像部門での売上減等により微減収。費用面では、日本テレビ放送網でロシアW杯による番組制作費増があったが、HJホールディングスのコンテンツ・広告宣伝費用減等により営業利益増益。

(単位:百万円)	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	増減 (%)
売上高	103,287	103,068	△0.2
営業利益	12,160	12,577	3.4
経常利益	15,155	15,147	△0.1
親会社株主に 帰属する四半期純利益	10,047	10,018	△0.3

(百万円未満切捨て)

# セグメント別 実績

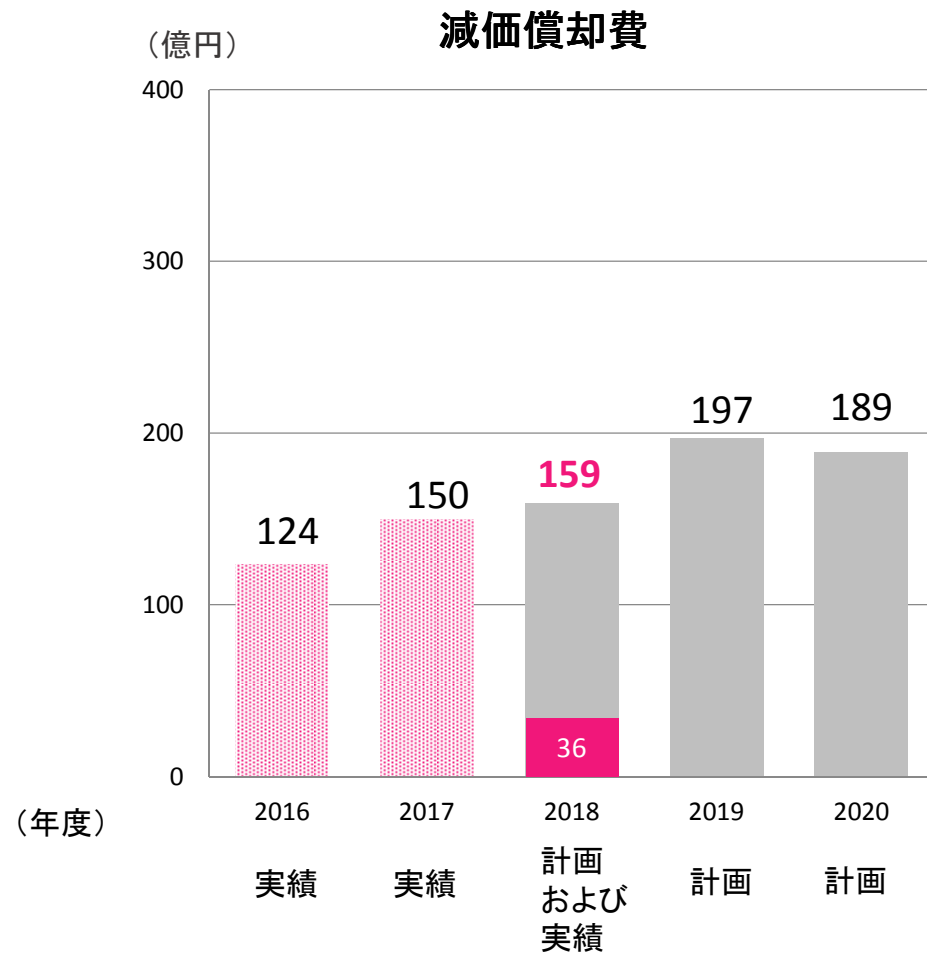
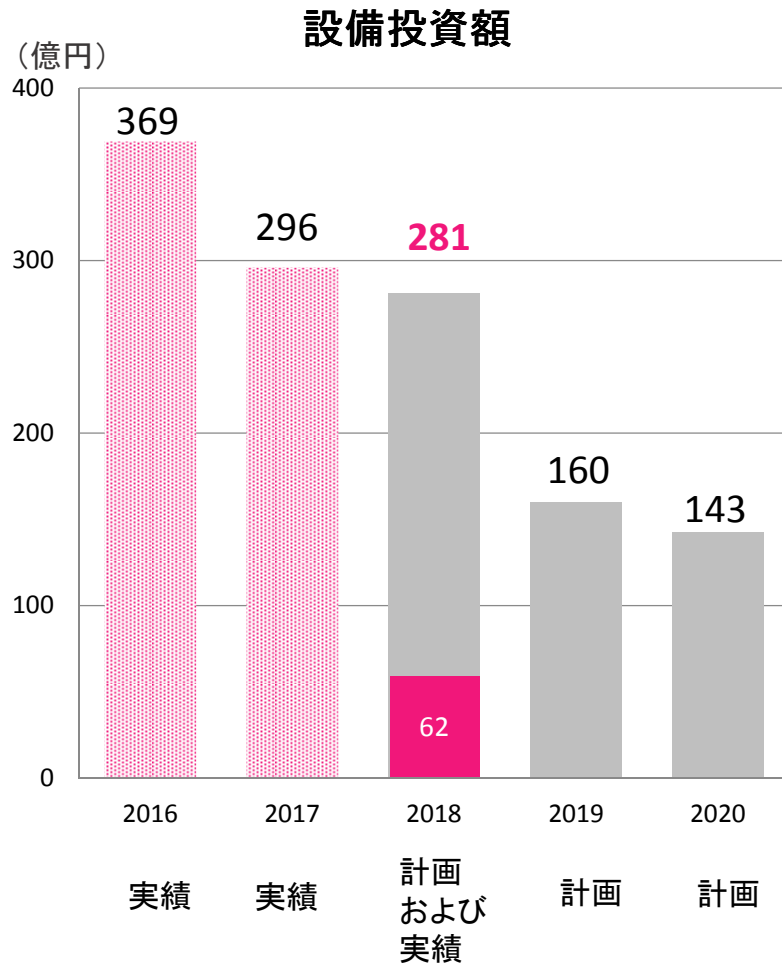
2018年度 第1四半期  (単位:百万円)	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディア・ コンテンツ事業	生活・健康 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	92,357	9,443	2,468	104,269	1,457	105,727	△2,658	103,068
セグメント利益	11,608	185	861	12,655	161	12,817	△239	12,577

(百万円未満切捨て)

事業区分	主な事業内容
メディア・コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託、テーマパークの企画・運営
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

# 設備投資・減価償却費

2018度 第1四半期 (単位：億円)	設備投資額	減価償却費
		62



視聴率の状況・番組編成

2018年度1Q決算について

**主なグループ会社の状況**

2018年度の連結業績予想

# 日本テレビ放送網 決算概況

売上高は、スポット収入の減収をタイム収入がカバーし増収。

営業利益は、事業収支の黒字幅は増加したものの、ロシアW杯による番組制作費増、設備更新等に伴う減価償却費増などにより減益。 営業外収益で子会社からの受取配当金が増加したことにより、経常利益、四半期純利益は増益。

(単位:百万円)	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	増減 (%)
売上高	76,489	77,058	0.7
営業利益	11,433	10,488	△8.3
経常利益	14,309	14,519	1.5
当期(四半期)純利益	10,102	10,339	2.3

(百万円未満切捨て)

# 日本テレビ放送網 放送収入

(単位:百万円)	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	増減 (%)
放送収入	62,892	64,111	1.9
タイム	29,198	31,101	6.5
スポット	33,694	33,009	△2.0

(百万円未満切捨て)

## 放送収入 前年同月比

タイム	2017年度 (%)	2018年度 (%)	スポット	2017年度 (%)	2018年度 (%)
4月	6.5	3.2	4月	1.7	0.4
5月	△0.2	1.0	5月	0.0	△6.6
6月	4.2	16.0	6月	△7.2	0.1

# 日本テレビ放送網 番組制作費

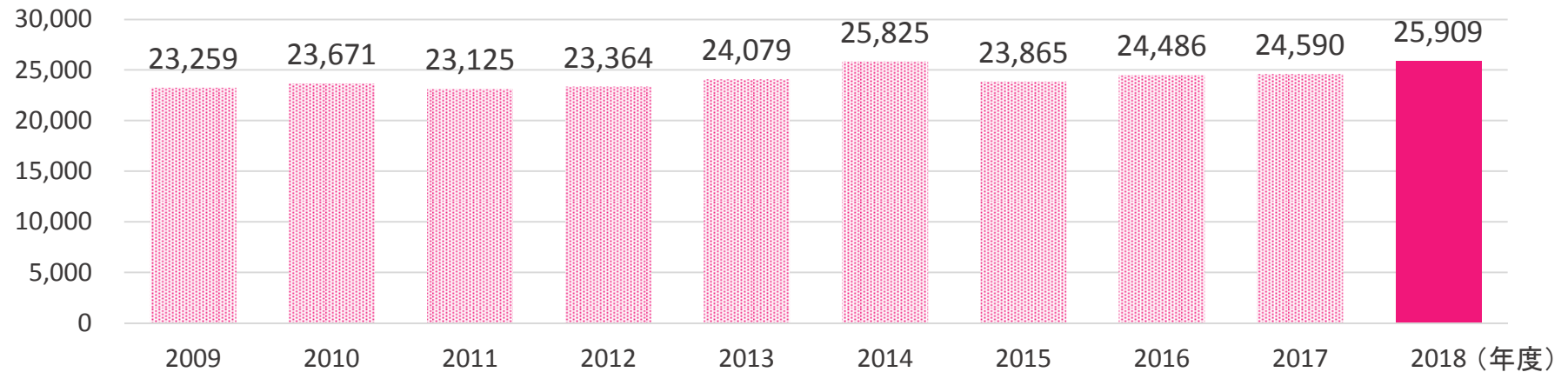
(単位:百万円)

2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	増減 (%)
24,590	25,909	5.4

(百万円未満切捨て)

## 番組制作費 (第1四半期)

(百万円)



# 日本テレビ放送網 事業収支

(単位:百万円)		2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	(単位:百万円)		2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期
有料放送	収入	2,444	2,603	イベント	収入	1,858	990
	費用	1,096	1,369		費用	1,742	876
	収支	1,347	1,234		収支	116	114
ライツ	収入	543	492	海外ビジネス	収入	373	531
	費用	132	293		費用	192	230
	収支	411	199		収支	181	301
通販	収入	1,687	2,137	その他	収入	1,383	1,517
	費用	1,621	2,020		費用	1,420	1,339
	収支	67	117		収支	△37	178
映画	収入	1,909	1,332	合計	収入	10,197	9,603
	費用	1,655	971		費用	7,858	7,097
	収支	254	361		収支	2,339	2,506

(百万円未満切捨て)



# その他グループ会社の状況①

単位:百万円	BS日本	CS日本	日テレ・ テクニカル・ リソース	日テレ アクセス	日テレ イベント	日本テレビ アート	日本テレビ 音楽	ハップ	ティップネス
売上高	3,706 (△4.1%)	1,243 (4.1%)	2,546 (△2.0%)	5,210 (△5.1%)	737 (20.2%)	1,905 (△0.8%)	2,670 (△5.3%)	2,467 (△29.9%)	9,443 (1.2%)
営業利益	385 (18.8%)	213 (△10.2%)	△8 (-)	100 (△54.7%)	0 (-)	53 (△19.9%)	353 (△3.0%)	86 (△41.6%)	565 (7.7%)
経常利益	394 (18.5%)	216 (△9.7%)	0 (-)	104 (△54.0%)	0 (-)	55 (△20.5%)	402 (△0.7%)	113 (△36.1%)	498 (10.0%)
当期 (四半期) 純利益	269 (18.6%)	149 (△9.5%)	0 (-)	68 (△54.7%)	0 (-)	38 (△20.4%)	290 (0.2%)	75 (△45.0%)	403 (26.2%)

(百万円未満切捨て)

注: ( )の数値は前期比増減をあらわしています。  
前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記します。

## その他グループ会社の状況②

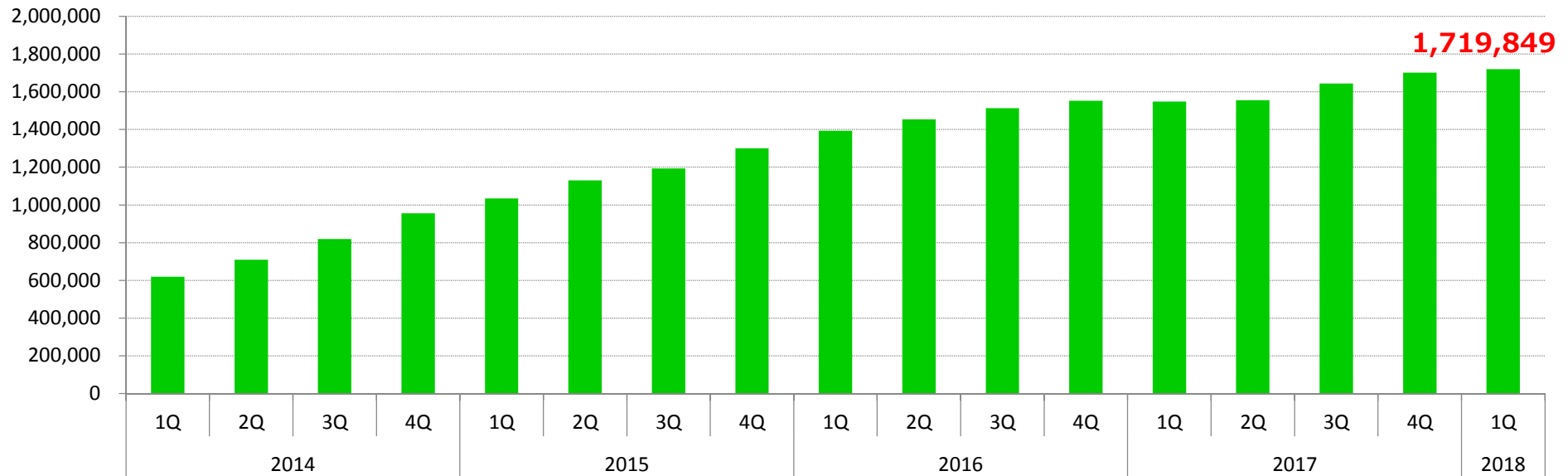
単位:百万円	日本テレビサービス	日本テレビワーク24	フォアキャスト・コミュニケーションズ	日テレITプロデュース	日テレ7	タツノプロ	HJホールディングス	ACM
売上高	769 (△14.6%)	1,034 (0.5%)	936 (2.9%)	690 (101.0%)	886 (8.3%)	494 (10.3%)	4,805 (10.3%)	839 (△1.7%)
営業利益	29 (66.3%)	41 (11.4%)	11 (△52.9%)	131 (-)	52 (21.1%)	35 (372.0%)	65 (-)	34 (1981.9%)
経常利益	35 (59.3%)	41 (71.6%)	46 (△14.6%)	129 (-)	53 (22.0%)	34 (318.7%)	78 (-)	35 (634.2%)
当期 (四半期) 純利益	23 (61.6%)	26 (74.1%)	31 (△11.6%)	125 (-)	36 (22.8%)	22 (-)	54 (-)	23 (688.8%)

(百万円未満切捨て)

注: ( )の数値は前期比増減をあらわしています。  
前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記します。

# H J ホールディングス概況

## 純有料会員総数



- 前四半期から会員数を18,730人増やし、約172万人に到達  
→Huluオリジナル「ミスシャーロック」が好調
- 日本テレビの連ドラ「崖っぷちホテル」「ゼロ 一獲千金ゲーム」と連動したHuluオリジナルストーリーも好調  
→今後も日本テレビと連動したHuluオリジナルストーリーを積極的に実施
- 今年度末の目標会員数180万人に向けて計画通り進行中

視聴率の状況・番組編成

2018年度1Q決算について

主なグループ会社の状況

**2018年度の連結業績予想**

# 連結業績予想

(単位：百万円)	2017年度実績	2018年度予想	増減 (%)
売上高	423,663	428,000	1.0
営業利益	50,964	48,000	△5.8
経常利益	61,239	55,000	△10.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37,416	38,000	1.6

(百万円未満切捨て)

\* 今回、業績予想の変更はありません。

# 補足資料

# 日本テレビ放送網 営業収入

(単位:百万円)	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	増減 (%)
放送収入	62,892	64,111	1.9
番組販売収入	2,885	2,812	△2.5
事業収入	10,197	9,603	△5.8
不動産賃貸収入	513	530	3.3
合計	76,489	77,058	0.7

(百万円未満切捨て)

# 日本テレビ放送網 営業費用

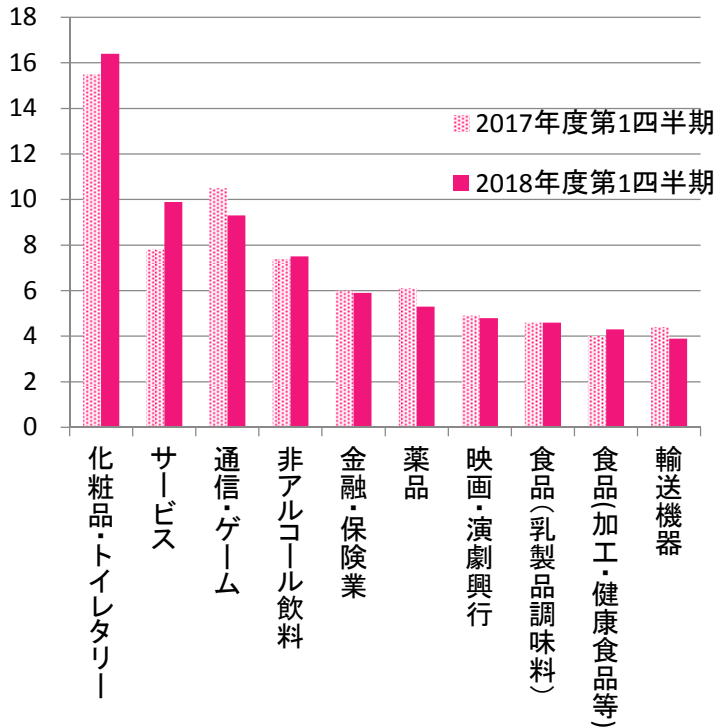
(単位:百万円)	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	増減 (%)
番組制作費	24,590	25,909	5.4
人件費	5,798	5,599	△3.4
減価償却費	1,946	2,163	11.1
事業費	7,858	7,097	△9.7
その他	24,862	25,800	3.8
合計	65,056	66,569	2.3

(百万円未満切捨て)



# スポット業種別売上シェア -地上波（日本テレビ放送網）-

(%) スポット業種別シェア比較



	2017年度 第1四半期	シェア	増減率 (%)	2018年度 第1四半期	シェア	増減率 (%)
1	化粧品・ トイレタリー	15.5	△7.2	化粧品・ トイレタリー	16.4	4.0
2	通信・ゲーム	10.5	△14.8	サービス	9.9	19.3
3	サービス	7.8	10.6	通信・ゲーム	9.3	△13.2
4	非アルコール飲料	7.4	4.5	非アルコール飲料	7.5	△1.2
5	薬品	6.1	5.1	金融・保険業	5.9	△3.5
6	金融・保険業	6.0	11.0	薬品	5.3	△14.9
7	映画・演劇興行	4.9	△5.8	映画・演劇興行	4.8	△4.5
8	電気機器	4.9	11.7	食品 (乳製品調味料)	4.6	△3.4
9	食品 (乳製品調味料)	4.6	4.3	食品 (加工・健康食品等)	4.3	5.6
10	輸送機器	4.4	8.3	輸送機器	3.9	△13.0

注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

# 2018年「年間」視聴率

期間2018/01/01(月)～2018/07/22(日)

(単位:%)	NTV	EX	TBS	TX	CX	HUT
<b>全 日</b>	① <b>8.0</b>	7.6	6.4	2.8	5.6	<b>41.0</b>
6時～24時	▲0.2	+0.3	+0.2	±0.0	▲0.1	+0.4
<b>プライム</b>	① <b>11.7</b>	10.5	9.9	6.2	7.5	<b>58.4</b>
19時～23時	▲0.2	+0.5	+0.1	±0.0	▲0.2	+0.3
<b>ゴールデン</b>	① <b>12.1</b>	10.5	10.0	6.6	7.6	<b>61.0</b>
19時～22時	▲0.1	+0.9	+0.1	±0.0	▲0.2	+0.6
<b>ノンプライム</b>	① <b>6.9</b>	6.8	5.4	1.9	5.1	<b>36.1</b>
全日-プライム	▲0.3	+0.2	+0.2	+0.1	±0.0	+0.5
<b>プラチナ</b>	① <b>6.5</b>	5.5	4.6	2.5	3.9	<b>28.9</b>
23時～25時	▲0.1	▲0.4	+0.2	▲0.2	+0.1	▲0.1

- 注: 1. 表示は左からデジタルチャンネル順  
 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ  
 3. ( )内は前年との差 比較期間:2017/01/02～2017/07/23

# 2018年 映画事業の主なラインナップ ①

☆ = 日テレ主幹事

公開	作品名	配給	備考
2018年 6/30 (土)	それいけ！アンパンマン かがやけ！クルンといのちの星	東京 テアトル	劇場版アンパンマン第30弾！最高興収を記録した前作を超える大ヒットスタート！興収5億超えの歴代最高興収。歴代最高スタートを記録。7月23日現在前作興収対比132.3%推移  監督：矢野博之 声の出演：戸田恵子 中尾隆聖
2018年 7/20 (金)	☆ 未来のミライ	東宝	『時をかける少女』『サマーウォーズ』『おおかみこどもの雨と雪』『バケモノの子』に続く細田守監督が最新作。甘えん坊の男の子“くんちゃん”と未来からやってきた妹“ミライちゃん”が織りなすちょっと変わった「きょうだい」の物語。初週週末興行成績邦画1位の大ヒットスタート。 監督：細田守 声の出演：上白石萌歌 黒木華 星野源 麻生久美子 役所広司
2018年 8/3 (金)	僕のヒーローアカデミア THE MOVIE -二人の英雄-	東宝	これは、僕が最高のヒーローになるまでの物語だ。少年ジャンプ原作のテレビアニメシリーズ初の映画化  監督：長崎健司 声の出演：山下大輝 三宅健太 ゲスト声優：志田未来 生瀬勝久

# 2018年 映画事業の主なラインナップ ②

☆＝日テレ主幹事

公開	作品名	配給	備考
2018年 8/24 (金)	ポノック短編劇場 ちいさな英雄 -カニとタマゴと透明人間-	東宝	「メアリと魔女の花」のスタジオポノックの新プロジェクト。 短編3作品を劇場公開！ 監督:米林宏昌 百瀬義行 山下明彦
2018年 9/14 (金)	☆ 3D彼女 リアルガール	WB	「美女とヲタク」の大純愛スペクタクル！！映画『ヒロイン失格』 チームが再び贈る、笑って泣けるラブ・コメ誕生！！ 監督:英 勉 出演:中条あやみ 佐野勇斗
2018年 9/28 (金)	DTC 湯けむり純情篇 from HiGH&LOW	松竹	大ヒットシリーズ「HiGH&LOW」の-spin-off映画。 監督:平沼紀久 出演:山下健二郎 佐藤寛太 佐藤大樹
2018年 10/26 (金)	旅猫レポート	松竹	ヒットメーカー有川浩の主人公の悟と愛猫・ナナとの深い絆を描いた号泣必須の感涙小説『旅猫レポート』。映像化困難と言われた奇跡の物語がついに完全実写映画化！ 監督:三木康一郎 出演:福士蒼汰 高畑充希(声の出演)

# 2018年 映画事業の主なラインナップ ③

☆＝日テレ主幹事   ★＝日テレ共同幹事

公開	作品名	配給	備考
2018年 11/30 (金)	かぞくいろ	松竹	鉄道を巡る親子の絆を描く『RAILWAYS』シリーズ最新作 監督:吉田康弘 出演:有村架純 桜庭ななみ 國村 隼
2018年	★こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話	松竹	筋ジストロフィー症に冒された青年は只者ではなかった。わがまま放題放題、恋もすれば、悪さもする！昨年末大ヒットした実話感動作「8年越しの花嫁」に続く実話コミカル感動作！ 日本テレビ＝松竹共同幹事作品 監督:前田哲 出演:大泉洋 高畑充希 三浦春馬
2019年	☆九月の恋と出会うまで	WB	“書店員が選んだもういちど読みたい恋愛文庫”第1位！一途に愛した女(ヒト)のために時空を超えて奇跡を起こした男の純愛ラブストーリー！ 監督:山本透 出演:高橋一生 川口春奈
2019年 3/21 (金)	プリンス オブ レジェンド	東宝	「HIGH&LOW」のHi-Axによる新プロジェクト。深夜ドラマ、ゲーム、イベント、映画連動企画。 監督:河合隼人 出演:片寄涼太 鈴木伸之 川村壱馬 佐野玲於 関口メンディ

# 2018年 イベント事業の主なラインナップ ①

期間	イベント名	内容
2018年 5/30(水)～9/3(月)	日本テレビ開局65年記念事業 「ルーヴル美術館展 肖像芸術 ——人は人をどう表現してきたか」	人の似姿を描出する肖像芸術は、古代以来の長い歴史をもつ芸術ジャンルです。本展は、肖像芸術の社会的役割や表現上の様々な特質を、ルーヴル美術館の全8部門の代表的作例を通じて浮き彫りにします。3000年以上も前のエジプトの棺用マスクから、ルイ14世やナポレオンなどの君主像、華麗な女性や愛らしい子どもたちの肖像まで、肖像芸術の魅力をご堪能ください。 ◎国立新美術館(六本木) /大阪巡回予定
2018年 8/16(木)～8/20(月)	「ディズニー・オン・アイス ミッキーのスペシャルセレブレーション！」 横浜公演	今年のディズニー・オン・アイスは、ミッキーマウスのスクリーンデビュー90周年をお祝いした完全オリジナル作品です。世界に先駆けて日本での封切となり、まさにワールドプレミアです。お祝いにふさわしく、史上最多となる9人のプリンセスが登場。ラプンツェルとアリエル、2人のプリンセスが同時に宙を舞う豪華版です。 @横浜アリーナ
2018年 7/25(水)～9/17(月・祝)	「未来のミライ展～時を越える細田守の世界 『時をかける少女』『サマーウォーズ』『おおかみこどもの雨と雪』『バケモノの子』」	前回、東京・大阪・富山で延べ13万人を動員し、好評を博した「バケモノの子展」に続く2回目の大規模展覧会となる本展では、細田守監督が描く『未来のミライ』の世界を、体感型展示・テクノロジー・原画・背景画などを通じて立体的なイベントで再現。「映画とは違う、イベントならではの表現で、子どもと大人と一緒に楽しめる空間を作ってほしい」という、細田監督からの意見をイベントに生かし、まさに“時を越える細田守の世界”を表現します。さらに、『時をかける少女(2006)』、『サマーウォーズ(2009)』、『おおかみこどもの雨と雪(2012)』、『バケモノの子(2015)』の過去作の展示も盛りだくさん！新作との関係性を分析・紐解き、細田守監督と多くのスタッフが作り上げた映画の魅力に迫ります。この夏、細田守監督が描く「未来のミライ」の不思議な世界に“タイムリープ”して下さい。 @東京ドームシティGallery AaMo
2018年 7/26(木)～9/16(日)	「namie amuro Final Space」	今年9月16日に引退する安室奈美恵さんの軌跡を辿る体感型の展覧会を今夏、東京、大阪、福岡、沖縄の4会場で開催します。最終日は引退日の9月16日。東京会場では、会場を巡りながら映像を中心に楽しむアトラクション型の空間を実現。来場者と一緒に軌跡を辿っていく新しいタイプの展覧会で映像はこの展覧会のために撮り下ろした特別なものです。 @渋谷ヒカリエ ヒカリエホール

# 2018年 イベント事業の主なラインナップ ②

期間	イベント名	内容
2018年 7/4(水)～29(日)	日本テレビ開局65年記念事業 「ミュージカル エビータ」	恵まれない境遇に生まれながらもモデルや女優を経て、アルゼンチン大統領夫人にまで昇り詰めた“エビータ”の33年にわたる短くも劇的な生涯を描いたミュージカル。その1978年初演時のオリジナル演出版が、遂に初来日。アンドリュー・ロイド＝ウェバー作曲、ティム・ライス作詞、ハロルド・プリンス演出という、ミュージカル界の巨匠トリオによって誕生した本作は、1980年のトニー賞で最優秀作品賞を含む7部門を受賞。1996年にはマドンナ主演で映画化され世界中で大ヒットを記録。日本公演限定で、国際的に活躍するミュージカル俳優のラミン・カリムルーの出演も決定し注目が集まります。@東急シアターオーブ(渋谷ヒカリエ)
2018年 7/21(土)～8/19(日)	「世界一受けたい授業THE LIVE 恐竜に会える夏！」	この夏、「世界一受けたい授業」が番組を飛び出し、スーパーライブショーに！全国5大アリーナ会場で20万人を動員する超大型企画です。芦田愛菜さん、八嶋智人さん、山崎樹範さんの3人がナビゲーターとなり、観客と一緒に古代の世界へタイムスリップして恐竜たちに出会う壮大なストーリー。登場する恐竜たちは実物大のリアル恐竜ライブショー「DINO-A-LIVE」をてがける「ON-ART」が製作した世界最高レベルのもの。動きもリアルで時には観客を襲ってしまうかもしれません。また全国の強豪校ダンスチームも参加するなど、観客を巻き込んだショーとなります。@横浜アリーナ、大阪城ホール、日本ガイシホール、さいたまスーパーアリーナ、マリンメッセ福岡
2018年 11/3(土・祝)～27(火)	日本テレビ開局65年舞台 「魔界転生」	奇想天外、快刀乱麻、魑魅魍魎、歴史上の剣豪が次々と甦り、現世での怨念を晴らさんと、時空を超え、悪鬼となり、徳川幕府と対決する…！これまで、映画、舞台をはじめ、数々のジャンルでリメイクされ、山田風太郎作品の最大のヒット作であり、代表作として知られている『魔界転生』。壮大なスケール、雄大な歴史ロマン、アクションとカルトとスペクタクルの世界が融合した、壮絶、壮大なエンターテインメント時代劇の最高傑作が、マキノノゾミ脚本、堤幸彦演出により、日本テレビ開局65年記念舞台として再び甦ります！人気実力ともに兼ね備えた俳優陣により、豪華絢爛、空前絶後、迫力満点、この秋、スペクタクル時代劇の決定版！出演：上川隆也 溝端淳平 高岡早紀 村井良大 松田 凌 玉城裕規 木村達成 猪塚健太 栗山 航 丸山敦史 山口馬木也 藤本隆宏 浅野ゆう子 松平健 @明治座 /福岡公演(10/6～28)、大阪公演(12/9～14)も上演されます。